

# 文 教厚生 常任委員会

## 子ども・子育て支援について

平成27年度より、子ども・子育て支援新制度が全面施行されることから、平成26年度に事業計画の策定が義務づけられています。当市の事業計画においては、国も普及に努めている教育と保育を一体的に提供できる、認定こども園の設置を推進するよう要望しました。

## ファミリーサポートセンターについて

新規のファミリーサポートセンター事業については、核家族の進行と共働き世帯が増加する中、育児について相互に助け合う会員組織であり、市民への周知や会員の募集等、早急に事業を実施するよう要望しました。

委員長 飯島重男 副委員長 萩原剛志  
委員 高田重雄・潮田新正・小高友徳・風野和視・菊池伸浩

## 検診の受診率の向上を

各種がん検診事業について、当市のがんによる死亡者数は、生活習慣病の中で第1位を占めています。早期に発見できれば治癒できる病気であり、市で実施している検診は重要な役割を果たしていますので、さらなる受診率の向上に努めるよう要望しました。

## 賃借料の節減を

文化財保護費について、市が借り上げている収蔵庫の賃借料は、新たな真壁伝承館に収蔵庫が設置されていますので、収蔵している文化財の整理を進め、賃借料の節減を図るよう要望しました。



文化財が保管されている収蔵庫  
(真壁伝承館内)

# 建 設経済 常任委員会

## 意欲ある農業を

国の方針として、米の生産調整や農業者の所得安定などに関する施策見直しをすることとしています。今般の見直しの実情をよりの確に伝え、全体像及び、主なポイントを示せる体制を確立し、意欲ある農業者が安心して生産できるよう要望しました。

## 通学路の安全を

通学路対策については、通学時の事故も発生していることを踏まえ、児童生徒の安全を確保するため、市内全域において交通安全施設の整備を要望しました。

## 公共下水道事業について

市の全体整備計画区域には、費用対効果の面で再検討が必要と思われる地域が含まれているよう

委員長 中川泰幸 副委員長 鈴木裕一  
委員 上野征一・増田 昇・川那子秀雄・皆川光吉・仁平 実

なので、合併処理浄化槽の整備に転換することなど、整備計画区域の見直しを要望しました。

## 水道事業について

有水率については、震災前の有水率まで回復しつつありますが、漏水防止対策として、今後も老朽化した配水管等の更新を行うとともに、漏水調査を徹底し、早期発見や漏水防止技術の向上に努め、受水槽等のコスト削減の検討を行い、経営の健全化につなげていくよう要望しました。

## 現地視察

3月11日に、林道端上線（真壁町桜井）の視察を行いました。



林道端上線

# 委員会報告

桜川市議会議員は、全議員がいずれかの常任委員会に所属し、それぞれ掲げたテーマについて審査しています。このページでは、その審査内容や各委員会の活動状況を報告します。

# 総 務常任委員会

今号は総務  
常任委員会に注目



増田俊夫 委員長 市村 香 副委員長 林 悦子 委員 橋本位知朗 委員 相田一良 委員 増田 豊 委員 岩見正純 委員 榎戸和也 委員

## 補助制度の活用を

国の経済対策により、景気は回復傾向にあると言われていますが、地方においては、景気の回復は依然として厳しい財政状況下です。また、合併特例による普通交付税の優遇措置が段階的に縮小されることになっており、徹底した行財政改革を行う必要があります。

4月には、産業立地推進課が新設されますが、企業誘致による税財源の確保とあわせ、国や県の補助制度等を積極的に活用することを要望しました。

## 人事管理について

活力ある社会づくりには、女性の社会進出が重要となっています。男女共同参画の視点からも、引き続き、女性の管理職登用を進めるよう要望しました。

## 庁舎の維持管理について

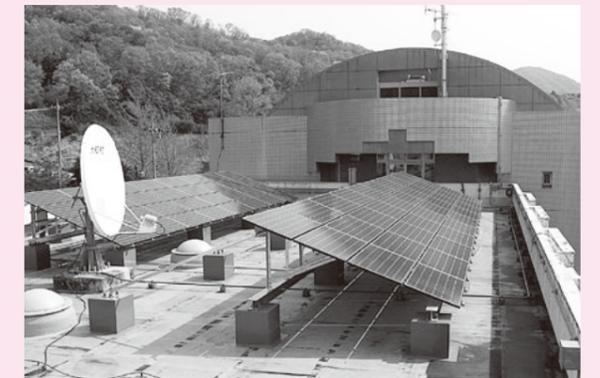
現在3庁舎それぞれに維持管理を行っている状況です。経費削減のためには、将来、新庁舎の建設も視野に入れた維持管理経費を比較検討し、さらなる経費削減に努めていただきたい。

## 少子化対策を

結婚支援については、少子化の要因となっている未婚化・晩婚化に、新たな事業の推進を含め、しっかりと対応していくよう要望しました。

## 空き家の有効活用を

空き家対策事業については、実態調査や管理業務にとどまることなく早期に条例を制定し、防犯・防災も含めた具体的な政策立案のために、有効活用できるよう要望しました。



大和庁舎屋上のソーラーパネル